

まちづくり懇談会内容【公開用】

日 時：令和 2 年 11 月 5 日（木）18：28～19：57

場 所：共和公民館

出席者：11 人

1. 開会

2. 町長挨拶

※配布資料確認および日程説明

3. これからのまちづくり（資料 1 参照）

- ・栗山赤十字病院の改築について

4. 懇談

5. その他（情報提供）

（1）光回線の全面開通について

（2）栗山高等学校と介護福祉学校の状況について

（3）新型コロナウイルス感染症対策について（資料 2 参照）

- ・町民の皆さんへ新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援一覧（資料 2－1 参照）

- ・事業者の皆さんへ新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援一覧（資料 2－2 参照）

- ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の減免について（資料 2－3 参照）

（4）空き家の情報提供について

6. 閉会

《懇談内容》

【栗山赤十字病院の改築について】

町民：栗山赤十字病院が新しくなるのは、町民にとっては心強い。町民の希望だったと思う。町から補助をしていると思うが年間いくらぐらい出しているのか。

町長：救急告示と不採算診療として町から 9700 万円を支援している。しかし、国から 8 割の補助が入ってくるので、実質は 2000 万円の負担になる。

町長：国の補助として 100 床にベッド数を減らすことで、補助が倍に増える。そういった資金を活用しながら経営改善などを行っていききたい。

町民：持病を持っている人も多い。栗山赤十字病院にかかっている人は正直少ない。私も札幌の病院に通院している。せっかく病院が新しくなるので、黒字経営になる病院になるべき。今まで通りの経営だと、診療を受ける人数は増えないのではないかな。治療実績など腕のいい医師が

いる病院へ行く傾向がある。町として何か具体的な策はあるのか。

町長：診療科についても、週1回の診療で、使い勝手も悪い。整形外科も午後の診療がない。診療科の充実なども協議していききたい。病院経営についても、出張医などの対応になっているが、医師の確保などを充実していききたい。最近は、健康志向が多いので、人間ドックの整備など収益を上げられるようなものがあったらどうかといった意見もある。

町民：栗山赤十字病院に出張医が来るというのは、決して悪いことではない。北海道大学の出張医が来ることで、手術なども北海道大学に紹介状を書いてもらえるメリットがある。そういったことは、もっとPRしていくべき。

町長：栗山駅十字病院は、北海道大学と連携している。他の病院にはそういうものはない。そういったこともPRしていききたい。

町民：この計画だと、来年も懇談会を行うのか。

町長：来年も懇談会などでいろいろな意見をいただきたい。

町民：病院の建て替えが決まったのなら、これ以上懇談会はいらないと思う。面積のことを言われてもなかなかイメージがわからない。

町民：町外の人ほどどれくらい通院しているのか。

日赤改築室長：栗山赤十字病院の利用者のうち81%が町民、その次に夕張、由仁の順で多い。

町長：他の町から栗山赤十字病院に来ているのだから、補助をもらいたいところだが、町民も他の町に行っている現状もあるので、補助をもらうのは難しい。

町長：建設場所は、現地での建て替えが望ましいが、いろいろな検討をしたい。国には、移転建て替えでも解体費が借入金の対象にならないかと要望しているが、なかなか難しい。

町長：候補地として要望が出ているのは、栗山駅周辺や、栗山の地形上中間地点にあたる角田地区、富士の栗山由仁線の栗山町農産物検査場付近はどうかといった意見をいただいている。いろいろな意見を聞き検討していききたいが、現地での建て替えが有力ではないかと考えている。

町長：栗山赤十字病院の検査について、情報提供がある。

日赤改築室長：11月9日から、建物右手にプレハブを設置し、発熱外来を設置した。午前中に電話で予約をし、午後からの診察となる。PCR検査自体はできないが、検体を採取して、検査に出すことができる。2日から5日くらいで検査結果が分かる。また、唾液採取して抗体を調べる抗原検査も行える。1時間くらいで検査結果が出る。発熱などの症状があつて、医師の判断で検査を受ける場合は国が費用を負担する。自分で検査をする場合は、自己負担になるのでPCR検査で2万円、抗原検査は7500円かかる。65歳以上の人が検査をする場合の補助制度を検討している。

町民：3、4日様子を見て、病院へ行くということをテレビなどでも見たが、熱があつたらすぐに診てもらえるのか。

日赤改築室長：専用の電話番号があるので、そちらに問い合わせてもらいたい。

町民：微熱があつても、病院で診てもらえないことがあつた。

町民：隔離病棟はないのか。

町長：栗山赤十字病院は感染症の指定病院ではないので、隔離病棟はない。

町民：コロナに感染したら、ホテルのようなところに隔離されるのか。

日赤改築室長：岩見沢市立病院の入院になる。ベッドが満床になったら、札幌市内のホテルなどに隔離されることがある。

町長：隔離病棟ではないが、感染のおそれがあつて、家族に感染させたくないなどの要望があれ

ば、町の隔離住宅を利用することができる。

《質疑応答》

【その他（情報提供）】

町民：栗山赤十字病院については、財源の確保や駐車場の関係を対応してほしい。医師や看護師の住宅関係など、今は必要ないが将来的には住宅などを配備して、栗山に住んでもらえるような体制を作ってもらおう。また、学校教育の問題についても並行してやっていくことが重要だと思う。

町長：栗山赤十字病院の関係については、国の向かっていく病院の方向性と、今栗山が取り組まなければならない病院とのタイミングがちょうど一致してうまく活用できることになった。まだ先になるが迅速に進めていきたいと思う。住宅の関係についても、医師の確保も含めて整備も必要になってくるので栗山赤十字病院と協議をしていきたい。

町民：長沼の病院に町民が流れていっている要因としては送迎してもらえんということが大きいという話も聞く。栗山単独で経営を維持するのではなく、近隣との連携も考えていってはどうか。

町長：長沼に町民が流れていっているのは、送迎バスや整形外科、利便性などの面もあると思う。この機会に検討していきたい。

町民：農業地域でもコロナの影響を受けている。国からの補助もあった。町独自として、基幹産業の農業について栗山赤十字病院の建て替え問題と同じように重要という認識を持っている。農業や工業、産業など新しい取り組みなどあれば、教えてほしい。

町長：コロナに対して、国の持続化給付金と合わせて、町が上乘せして支援するように考えているが、農業は減収などの比較が難しく、支援の方法を考えている。農協と協議しながら支援を考えていく。

町長：次期作に向けた高収益作物の支援について、予算がなくなって支援が打ち切りになったという話もあった。こちらの地域もそういった話はあったのか。

町民：農協から今月下旬に説明会がある。条件はかなり厳しいと思うが、何か話があるかと思う。

町長：町もこれまでに約9億円近くコロナ対策の支援をしてきた。光回線の関係や、子どもたちへの一人1台パソコン整備など。その中の一部を保留している支援として農業関係がある。

町民：おそらくRTKかICTなど、そのあたりになってくると思う。

町長：資金の借り入れの支援など、いろいろなことが考えられるのでその影響などを調査している。

町長：農業の基本は基盤整備であるので、そこをしっかりとやっていくということで、計画している。土地改良事業として、継立と南角田が終了し、これから、円山、御園、北学田、富士などの整備が残っている。全体で150億円くらいになる。北海道の農政部に陳情要望をしているが、これだけの大規模な計画になると北海道だけでは難しいということで、地元に進捗組織を作って南部耕地出張所などと連携し、10年くらいかかるが、そういった体制作りを進めている。

町長：今後さらに農家件数の減少に対する、経営面積の広さをカバーするためICTなどを活用した省力化を図る政策が必要になってくる。補助制度などを作りながらこれからの農地をどう守っていくかを考えていく。そういったことを行いながら基幹産業である農業の展望を考えていきたい。

町長：企業誘致についても、第4工業団地など新しく区画したところに木質バイオマスの工場ができる。昨年は企業の倒産が相次ぎ、失業者もかなり出たが、少し明るい兆しが見えてきている。町の産業振興などについても頑張っていきたい。

19：57 終了